



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月25日

上場取引所 東

上場会社名 日本アビオニクス株式会社

コード番号 6946 URL <http://www.avio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 山下 守

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部経理部長 (氏名) 山後 宏幸

TEL 03-5436-0600

四半期報告書提出予定日 平成23年11月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	13,590	△8.7	△135	—	△205	—	△380	—
23年3月期第2四半期	14,883	22.7	186	—	147	—	△157	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △380百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △157百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△13.48	—
23年3月期第2四半期	△5.57	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	29,256	6,742	23.0
23年3月期	32,751	7,123	21.7

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 6,742百万円 23年3月期 7,123百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※1. 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後掲「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

2. 24年3月期(予想)の期末配当は未定となっております。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,500	4.7	350	44.3	200	43.6	△200	—	△7.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 通期の連結業績予想に関する事項については、本日(平成23年10月25日)公表の「平成24年3月期第2四半期(累計)業績予想数値と実績値の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な変更を行っております。詳細は、添付資料 P. 3 「サマリー情報(その他)」に関する事項をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	28,300,000 株	23年3月期	28,300,000 株
24年3月期2Q	41,713 株	23年3月期	39,916 株
24年3月期2Q	28,259,414 株	23年3月期2Q	28,261,321 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

24年3月期の普通株式に係る配当予想につきましては、前掲「配当の状況」に記載のとおりであり、期末の普通配当につきましては決定次第お知らせいたします。

※ 四半期決算補足説明資料の入手方法

当社は、平成23年10月28日(金)に機関投資家向け説明会を開催する予定であります。この説明会で配布する資料につきましては、開催後当社ホームページに掲載する予定であります。

## 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
第1種優先株式					
23年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
24年3月期	-	0.00			
24年3月期(予想)			-	-	-

(注) 24年3月期(予想)の期末配当は未定となっております。

(参考) 第1種優先株式配当金の額は、以下の算式に従い算出される金額であります。  
ただし、計算の結果、第1種優先株式配当金の額が20円を超える場合は20円となります。

$$\text{第1種優先株式配当金} = 1,000\text{円} \times (\text{日本円TIBOR} + 1.0\%)$$

日本円TIBOR …… 毎年4月1日現在における日本円のトーキョー・インター・バンク・  
オファード・レート(6ヶ月物)として全国銀行協会によって公表  
される数値

## 添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報	
（1）連結経営成績に関する定性的情報	P． 2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	P． 3
（3）連結業績予想に関する定性的情報	P． 3
2．サマリー情報（その他）に関する事項	
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P． 3
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P． 3
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P． 3
3．四半期連結財務諸表等	
（1）四半期連結貸借対照表	P． 4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P． 6
（3）継続企業の前提に関する注記	P． 8
（4）セグメント情報等	P． 8
（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P． 9
4．補足情報	
（1）受注高及び受注残高	P． 10
（2）売上高	P． 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から緩やかに回復しているものの、今なおその影響が残る中で円高やデフレの長期化等により不透明な状況となりました。

当社グループを取り巻く事業環境は、スマートフォン等の小型携帯端末が堅調に推移し、アナログ放送の停止に伴う薄型テレビ等の駆け込み需要がありました。世界経済の先行き不透明感による景況感の悪化から民間設備投資及び個人消費が伸び悩み、円高による輸出の鈍化等により厳しい状態で推移しました。

このような状況の中で、当社グループは、海外市場、特に新興国の開拓に向けた販売店の獲得、国内市場における太陽電池等の成長市場の開拓等を推進するとともに赤外線機器やプロジェクトの新製品を発売し売上高の確保に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、電子部品製造用の接合機器が大きく減少したことなどから売上高は135億90百万円（前年同期比8.7%減）となりました。損益に関しましては、売上高の減少に伴い1億35百万円の営業損失（前年同期比3億22百万円悪化）、2億5百万円の経常損失（前年同期比3億53百万円悪化）、3億80百万円の四半期純損失（前年同期比2億23百万円悪化）となりました。

### セグメント別の状況

#### 情報システム

情報システムは、大型プロジェクトの端境期により指揮・統制関連装置が大きく減少したことから、売上高は69億42百万円（前年同期比6.9%減）となりましたが、セグメント利益は、原価低減、費用削減等に努めた結果、6億79百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

#### 電子機器

電子機器は、接合機器が、海外市場や成長市場の開拓を進めたものの、スマートフォン等の小型携帯端末用電子部品増産に対する設備投資が一巡したことからその需要が大幅に減少し、また、ビジネス向けプロジェクトが新製品を投入したものの、東日本大震災に伴う民間設備投資抑制の影響を受け低調となりました。この結果、売上高は24億25百万円（前年同期比23.6%減）となりました。セグメント利益は、売上高減少の影響により47百万円（前年同期比82.7%減）となりました。

#### プリント配線板

プリント配線板は、半導体試験装置市場において当社が得意とする高機能製品が増加し、また、既存顧客の深耕、新規顧客の獲得に努めた結果、売上高は21億33百万円（前年同期比9.3%増）となりました。セグメント利益は、売上高の増加に伴い87百万円（前年同期比14.3%増）となりました。

#### 赤外線・計測機器

赤外線・計測機器は、営業効率向上のため営業拠点の統廃合を進めるとともに海外及び成長市場開拓に向けた営業体制の見直しを行い、また、セキュリティ市場等の成長市場に対し新製品の投入等を行うことによって売上の拡大を目指しましたが、東日本大震災の影響による民間設備投資の抑制、売価の下落、円高による輸出の減少の影響等から、

売上高は20億89百万円(前年同期比9.3%減)となりました。セグメント損益は、売上高の減少の影響から3億71百万円(前年同期比1億51百万円悪化)の損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ34億95百万円減少し、292億56百万円となりました。これは主に現金及び預金が10億74百万円、受取手形及び売掛金が14億96百万円、たな卸資産が5億47百万円それぞれ減少したためであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ31億14百万円減少し、225億14百万円となりました。これは主に借入金が19億86百万円、未払法人税等が4億48百万円、賞与引当金が2億51百万円それぞれ減少したためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億81百万円減少し、67億42百万円となりました。これは主に四半期純損失を計上したためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年4月28日に公表いたしました予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「平成24年3月期第2四半期(累計)業績予想数値と実績値の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却の方法の変更)

当社グループのリース資産以外の有形固定資産の減価償却の方法については、従来、主として定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法へ変更しております。

この変更は、第1四半期連結会計期間より親会社である日本電気株式会社が有形固定資産の減価償却の方法を定額法へ統一することを契機に、当社グループの経営実態をより的確に反映するための有形固定資産の減価償却の方法の見直しを行った結果、近年では現有設備の維持更新を目的とした設備投資が多くを占める状況にあるとともに、有形固定資産を長期安定的に利用することにより、収益に安定的に貢献することが見込まれることから、取得原価を耐用年数にわたって均等に配分する方が、より適切な費用配分を行うこととなると判断したためであります。

この変更により、従来の方法によった場合と比較して、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は6百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表等  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,888	2,813
受取手形及び売掛金	10,187	8,691
たな卸資産	7,388	6,841
その他	933	950
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	22,394	19,294
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,896	1,815
土地	4,847	4,847
その他（純額）	889	745
有形固定資産合計	7,633	7,408
無形固定資産	338	274
投資その他の資産		
前払年金費用	1,433	1,347
その他	1,010	990
貸倒引当金	△59	△59
投資その他の資産合計	2,385	2,278
固定資産合計	10,357	9,962
資産合計	32,751	29,256

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,685	4,557
短期借入金	6,400	5,334
未払法人税等	637	189
賞与引当金	1,009	757
工事損失引当金	22	—
製品保証引当金	164	122
その他	2,106	1,618
流動負債合計	15,025	12,578
固定負債		
長期借入金	4,560	3,640
再評価に係る繰延税金負債	1,321	1,321
退職給付引当金	4,694	4,946
その他	26	26
固定負債合計	10,602	9,935
負債合計	25,628	22,514
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,145	5,145
利益剰余金	179	△201
自己株式	△11	△11
株主資本合計	5,313	4,932
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	1,809	1,809
為替換算調整勘定	—	0
その他の包括利益累計額合計	1,809	1,809
純資産合計	7,123	6,742
負債純資産合計	32,751	29,256



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	14,883	13,590
売上原価	11,296	10,310
売上総利益	3,586	3,280
販売費及び一般管理費	3,399	3,415
営業利益又は営業損失(△)	186	△135
営業外収益		
受取手数料	11	11
助成金収入	29	3
その他	12	13
営業外収益合計	53	27
営業外費用		
支払利息	86	84
その他	5	13
営業外費用合計	91	97
経常利益又は経常損失(△)	147	△205
特別損失		
固定資産除却損	2	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	20	—
特別損失合計	22	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	125	△206
法人税等	282	174
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△157	△380
四半期純損失(△)	△157	△380

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	△157	△380
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	0
その他の包括利益合計	—	0
四半期包括利益	△157	△380
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△157	△380
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期累計(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	情報 システム	電子機器	プリント 配線板	赤外線・ 計測機器	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	7,452	3,175	1,951	2,303	14,883	-	14,883
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	7,452	3,175	1,951	2,303	14,883	-	14,883
セグメント利益 (営業利益)	655	276	76	219	788	602	186

- (注) 1. セグメント利益の調整額 602 百万円は、各報告セグメントに配分していない  
 全社費用 557 百万円、のれんの償却額 41 百万円及びその他の調整額  
 2 百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管  
 理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期累計(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	情報 システム	電子機器	プリント 配線板	赤外線・ 計測機器	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	6,942	2,425	2,133	2,089	13,590	-	13,590
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	6,942	2,425	2,133	2,089	13,590	-	13,590
セグメント利益 (営業利益)	679	47	87	371	443	579	135

- (注) 1. セグメント利益の調整額 579 百万円は、各報告セグメントに配分していない  
全社費用 550 百万円、のれんの償却額 20 百万円及びその他の調整額 7  
百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理  
費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っており  
ます。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4 . 補足情報

## ( 1 ) 受注高及び受注残高

( 単位 : 百万円 )

区 分	前年同四半期 (平成23年3月期 第2四半期累計)		当 四 半 期 (平成24年3月期 第2四半期累計)		( 参 考 ) 平成23年3月期	
	受 注 高	受注残高	受 注 高	受注残高	受 注 高	受注残高
情報システム	4,849 ( 33 )	9,636 ( 18 )	4,916 ( 72 )	7,803 ( 13 )	12,184 ( 188 )	9,829 ( 141 )
電 子 機 器	3,097 ( 1,827 )	449 ( 344 )	2,216 ( 856 )	370 ( 240 )	6,067 ( 3,373 )	579 ( 381 )
プリント配線板	1,963 ( 83 )	426 ( 7 )	2,054 ( 50 )	456 ( 8 )	3,912 ( 109 )	535 ( 8 )
赤外線・計測機器	2,470 ( 680 )	1,745 ( 295 )	2,054 ( 402 )	1,758 ( 195 )	4,939 ( 1,288 )	1,793 ( 309 )
合 計	12,379 ( 2,626 )	12,257 ( 664 )	11,241 ( 1,381 )	10,388 ( 458 )	27,104 ( 4,960 )	12,738 ( 841 )

( 注 ) ( ) 内数字は輸出額であり、内数であります。

## ( 2 ) 売 上 高

( 単位 : 百万円 )

区 分	前年同四半期 (平成23年3月期 第2四半期累計)		当 四 半 期 (平成24年3月期 第2四半期累計)		( 参 考 ) 平成23年3月期	
	売 上 高	構 成 比 %	売 上 高	構 成 比 %	売 上 高	構 成 比 %
情報システム	7,452 ( 26 )	50.1 ( 0.2 )	6,942 ( 200 )	51.1 ( 1.5 )	14,595 ( 56 )	50.1 ( 0.2 )
電 子 機 器	3,175 ( 1,669 )	21.3 ( 11.2 )	2,425 ( 997 )	17.8 ( 7.3 )	6,015 ( 3,178 )	20.7 ( 10.9 )
プリント配線板	1,951 ( 110 )	13.1 ( 0.8 )	2,133 ( 49 )	15.7 ( 0.4 )	3,791 ( 135 )	13.0 ( 0.5 )
赤外線・計測機器	2,303 ( 716 )	15.5 ( 4.8 )	2,089 ( 516 )	15.4 ( 3.8 )	4,725 ( 1,309 )	16.2 ( 4.5 )
合 計	14,883 ( 2,522 )	100 ( 17.0 )	13,590 ( 1,764 )	100 ( 13.0 )	29,127 ( 4,680 )	100 ( 16.1 )

( 注 ) ( ) 内数字は輸出額であり、内数であります。